

# 学校の話

町内小中学校の様子をお知らせするため、定期的に掲載を行っています。

## 〈菊水小学校〉

### 令和8年度のスタートです!!

いよいよ令和8年度がスタートしました。今年度は、新1年生33名を迎え、全児童数は241名となりました。3月に校舎に入り、掃除が行き届いていると思い、聞いてみると、子どもたちが朝のボランティア活動で掃除を頑張っているということでした。みんなのために頑張る子どもたちがたくさんいることが分かり、ワクワクしました。そこで、**教育目標を『みんなの笑顔のために』行動できる児童の育成**にしました。

就任式では、みんなの笑顔のために大切にしたいことを話しました。

#### 1 「あいさつ」

気持ちのよいあいさつでみんなを元気に、笑顔にしましょう。

#### 2 「あんぜん・あんしん」

学校は、勉強するだけでなく、友達と関わりながら成長していく場所です。ルールを守るだけでなく、悲しい思いになる言葉や行動、いじめは決して許されることはありません。一人一人がみんなの安全を守り、安心して学校生活ができるようにしましょう。

#### 3 「ありがとう」

「ありがとう」は、感謝を表す言葉。みんなを笑顔にする素敵な言葉をたくさん使いましょう。

児童一人一人の笑顔が輝く1年になるよう全職員一丸となって頑張ります。ご理解、ご支援をよろしくお願いします。



『みんなの笑顔のために』行動できる児童の育成

## 〈三加和小学校〉

三加和小学校の児童会活動は、「一人ひとりが輝き、子どもが主役の学校」を目指し、子どもたちが中心となって取り組んでいます。

4月14日(木)に米田教育長とランチミーティングを行いました。「**笑顔輝き 魅力あふれる和木町 ～自分たちにできること～**」について昨年度考えたことや「あいさつの木」についての取組等について振り返りました。その後、委員会活動の時間にあいさつの活性化について考え、新たな取組として、昇降口でのあいさつ運動の実施、生活目標を発達段階に応じて次のように設定しました。

1～3年生：目を見て、大きな声であいさつをしよう。

4～6年生：立ち止まって、笑顔であいさつをしよう。



よりよい三加和小にするために

「子どもまんなか」の考えのもと、自分たちの学校をよりよくしようと、考え、話し合い、工夫しながら活動を進めています。あいさつ運動や集会活動では、「友達が大好き」「学校が大好き」と感じられる学校づくりを目標に、みんなで力を合わせる姿が見られます。互いの思いを大切にしながら関わり合う中で、思いやりの心や協力する力も育まれています。

今後も児童会活動の充実を図りながら、笑顔と活気あふれる学校をみんなで作っていきます。



## 生活記録なごみ

伝統や生活文化等の移り変わりを後世に伝える文集として、生活記録なごみが第17集を迎えます。これまで分館のご協力による募集としておりましたが、今回から自由応募へと変更しました。戦争に関する記憶など、職員取材による寄稿もできます。たくさんのご応募、ご依頼をお待ちしております。

社会教育課

## 「9年間の給食の思い出」

立石 池田 結愛(15才)

私にとって9年間の給食の時間は、ただの食事をするのではなく、いろいろなことを学ぶ時間でした。そして一日の中でも大切な時間でした。私は食べるのが好きで、いつも学校に来たら「今日の献立は何だろう」と献立表を確認していました。好きな献立のときは、自然と笑顔が増え、給食は友達の仲をより深めてくれました。私の苦手な食べ物が出てきて、少し嫌だなと思っても苦手な味がせず、いつもおいしい給食に感動しました。私がつらいときでも

給食のおかげで頑張ることができました。私の9年間の給食は一日の中で疲れを癒してくれる存在でもあり、いつも給食の時間を待ち遠しく感じていました。9年間の給食は私の心と体の両方とも大きく育ててくれた大切な時間です。給食に関ってくださった調理員さんはもちろん、支えてくださった皆様にとっても感謝しています。私はこれからも給食のありがたさを忘れずに過ごしていきたいです。



菊池川流域

## 深掘り！菊池川流域日本遺産エピソード ～伝説と文化をたずねて～

### 〈弥生時代の大規模集落〉

全国的に米作りが始まった弥生時代は、その中期から後期にかけて集落の規模が大きくなり、人口も増えてきたことが遺跡の発掘調査から推定されています。

最近の調査事例として、玉名市が平成24年から発掘調査を行った大原遺跡（玉名市岱明町野口）では、竪穴建物128棟、掘立柱建物6棟など弥生時代から古墳時代にかけての遺構が重なるような状態で多数確認され、ここには当時、大規模な集落があったことが分かりました。

中しており、木船西遺跡、下前原遺跡、塚原遺跡、年の神遺跡、山下木佐貫遺跡、南大門遺跡、東南大門遺跡があります。これらの遺跡からは竪穴建物や大型円形竪穴建物が確認され、また、廃棄土坑からはマガキ、淡水のタニシ類、干潟のウミナガキなどの貝類、魚類、鳥類、シカやイノシシなど哺乳類の獣骨が出土し、当時の食料採集場所や食生活の一端を知ることが出来ます。

現在この一帯は、市道岱明玉名線が通り新しい住宅が立ち並び住宅地になっています。

山鹿市にある国指定史跡「方保田東原遺跡」は、史跡の一部が芝生公園として整備されています。また、国指定になっている出土品は、隣接する山鹿市出土文化財管理センターなどで見ることが出来ます。



大原遺跡  
遺構検出状況



塚原遺跡 土器の出土状況

大原遺跡は、菊池川下流域右岸の有明海を望む標高15m程の台地上にあります。その周辺は弥生時代から古墳時代にかけての遺跡が特に集



青銅器



家形土器



土器

山鹿市方保田東原遺跡出土品 (国重要文化財)

社会教育課  
文化係  
☎0968(34)3047